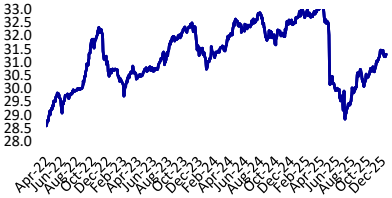
Mizuho Weekly Market Report

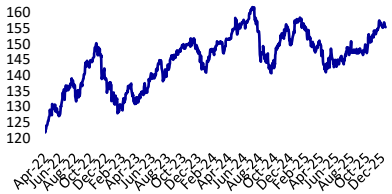
2025/12/15
みずほ銀行東アジア資金部台北室

市場動向

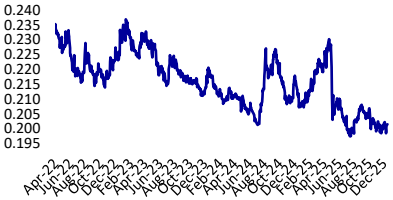
■USD/TWD



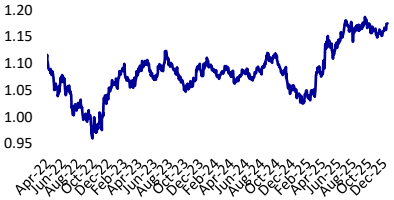
■USD/JPY



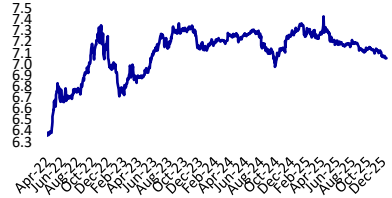
■JPY/TWD



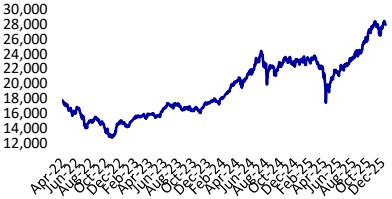
■EUR/USD



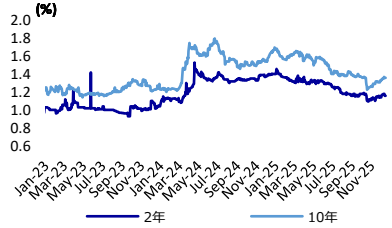
■USD/CNH



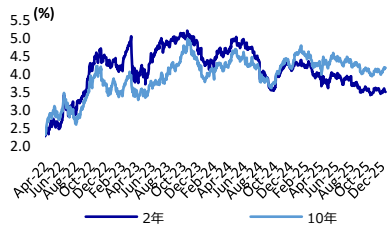
■台湾加権指数



■台湾國債利回り



■米国債利回り



先週の市場動向

■USD/TWD

先週のUSD/TWDは31.20を挟んでレンジ推移後、小幅下落。週初12/8、USD/TWDは31.260で始値。FOMCへの利下げ期待感で台湾株上昇により一時週安値の31.098まで下落したが、中銀の流動性供給や投信のドル買いが入り、31.202でクローズ。12/9、USD/TWDは31.210で始まり、前日同様の展開が続き、ドル売りが優勢となり一時31.135まで下落。午後は外国人投資家が株式市場で売り越しに転じたことでドル買い戻され、31.215でクローズ。12/10、USD/TWDは31.210で始まり、安値の31.160を付けた後、市場参加者がFOMCで利下げ方針、特に「タカ派的な利下げ」かどうかに注目したことで、ドルが買い戻され、31.208でクローズ。12/11、USD/TWDは31.200で始まり、FOMCで0.25%利下げが実施され、米金利低下でドル安、一時31.120まで下落。その後、株安と海外投資家の資金流出で台湾ドル安が進み、USD/TWDは週高値31.274まで反発、31.268でクローズ。12/12、USD/TWDは31.240で始まり、ドル買いが一時31.273まで上昇したが、この水準では輸出企業によるドル売りも見られ、徐々に31.20近辺まで下落、週末は31.202で終了。週間を通じて、外国人投資家の株式買い越し額は合計254.5億台湾ドルとなった。

■USD/JPY

先週のUSD/JPYは、上に往って来いの展開。週初8日、155.21円でオープンしたドル/円は日銀利上げ観測の高まりを受け一時週安値となる154.91円まで下落。海外時間は、米金利上昇と共にドル買い優勢となり156円手前まで続伸。9日、ドル/円は156円ちょうどを挟んでの推移。海外時間は、植田日銀総裁によるタカ派的な発言を受けた円買いもあったが、米 9月および10月JOLTS求人件数の強い結果を受けた米金利上昇を支えに、一時週高値となる156.95円まで上昇。10日、ドル/円は様子見ムードが強く、156円台後半で方向感なく推移。海外時間は、FOMCが予想通り▲25bpの利下げを決定。声明文やパウエルFRB議長会見が市場予想ほどタカ派的ではなかったことが材料視され、米金利の低下幅拡大とともに156円を割り込んだ。11日、ドル/円は156円台を回復。海外時間には、米新規失業保険申請件数の軟調な結果を受け一時155円を割り込むも、米金利反発を支えに155円台半ばに値を戻した。12日、ドル/円は引き続き155円台半ばを中心に推移。海外時間には156円台に緩やかに上昇も、翌週のイベントを控え様子見ムードが強く、最終前週比で0.33%上昇の155.85でクローズ。

■USD/TWD　**予想レンジ：31.100-31.500**

今週のUSD/TWDはやや強含みの展開を予想。米金利の高止まりやテクノロジー株の高値警戒感から台湾株が軟調となり、海外投資家の売り越しが見込まれます。これらを背景に、USD/TWDはやや強含みで推移すると予想。

■USD/JPY　**予想レンジ：153.00-158.00**

今週のUSD/JPYは上値の重い推移を予想。先週のFOMC結果は予想ほどタカ派的ではなく、今週は日銀会合が注目材料です。日米金利差縮小が円高要因となる一方、米金利の高止まりがドル買いを支え、USD/JPYはレンジ内でのもみ合いが続く見込み。

今週の予想

12/15 (MON)	米12月NY Feb製造業指数、日短観大企業製造業
12/16 (TUE)	米11月雇用統計・小売売上高・米 12 月製造業/非製造業 PMI
12/17 (WED)	日11 月貿易収支
12/18 (THU)	台湾中銀会議、米11月CPI、日銀金融政策決定会合 (18-19 日)
12/19 (FRI)	米11 月中古住宅販売件数 、日11 月CPI・日銀植田総裁記者会見

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようにお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。